

佐野市業務量調査業務委託仕様書

1. 業務委託名 佐野市業務量調査業務
2. 委託場所 栃木県佐野市高砂町1番地
3. 委託期間 契約締結日から平成30年3月16日まで
4. 調査対象部署 全部署（ただし、消防署、技能労務職の部署を除く、消防本部は含む。）
5. 業務量調査の目的
 - ・専門的な知識を有する立場から業務量の調査を行い、本市の組織や人員、業務の課題を明らかにし、業務改善等を見据えた基礎資料とする。
 - ・定員適正化計画が平成30年4月1日で終了となるため、新たな定員適正化計画の基礎資料として活用する。
 - ・現在の人員配置が適正かを把握し、今後の人事配置や組織改編等の基礎資料として活用する。
6. 委託内容

業務量調査を正確かつ効率的に実施するため、業務量の測定方法は業務ごとに時間を見積もり、その積み上げによって測定する推定積上方式とする。調査期間や調査効率を考慮し、日報等による実測は行わない。主な委託内容は次のとおり。

 - (1) 業務量調査の導入・集計
 - ・調査の実施方針・調査対象・業務体系・スケジュール等の考え方の整理
 - ・業務量調査方法の確定、業務量調査帳票の設計、入力フォーマットの提供
 - ・各部署の業務体系リストの作成支援、業務処理時間の精査
 - ・業務量調査の実施マニュアル作成
 - ・業務量調査集計、データベース化、グラフデータ等の作成
 - (2) 職員説明会等の実施
 - ・調査内容、作業方法等の説明
 - ・説明資料準備
 - (3) 調査結果の分析、適正な職員数の把握
 - ・ヒアリングによる実態調査（必要部署のみ：3日程度を想定）
 - ・集計結果の分析・異常値の是正・適正化
 - ・人員算出基準の策定、適正な職員数の把握
 - ・業務種別標準処理時間（理論値）の策定、本市の現状との比較
 - ・共通業務の横断的比較や他団体との比較調査
 - (4) 結果のまとめと業務を絞った問題等の検証
 - ・調査結果の考察、課題の抽出
 - ・当該業務の次年度以降の運用方法の提案

7. 成果品

本業務における成果品として、次のものを紙媒体及び電子データにより納品するものとする。

(1) 業務報告書（上記「6 委託内容」を満たすもの）

紙媒体：3部、電子データ：1部（CD-R等の媒体とし、使用するソフトはワード、エクセルとする。）

8. その他

(1) 委託見積金額

委託見積金額は、企画立案と実施、説明会資料等の作成及び委託内容に係る交通費・宿泊費など、すべての経費を含めた金額とすること。

(2) 打合せ等

業務の実施に当たっては、逐次本市担当者と打合せを行い、円滑な進捗を図ることとする。本市担当者の指示に対しては誠実かつ迅速に対応すること。

(3) 仕様書の委託内容

本仕様書は、業務の概要を示すものであり、業務内容の詳細については、プロポーザル実施後、選定された受託業者と本市の協議により仕様書を決定する。

(4) 秘密の保持等

本業務の遂行に際し知り得た情報は、いかなる場合においても第三者に漏らしてはならない。ただし、本業務の遂行に必要な場合で、かつ本市の許可を得た場合はこの限りでない。

(5) 疑義の解消

その他、本仕様書に定めない事項や詳細について疑義が生じた場合には、その都度遅滞なく本市担当者と協議により決定するものとする。

9. 業務委託分担表

業務委託の内容及び分担区分は、次のとおりとする。

業務内容	受託者	委託者(市)
各種様式、打ち合わせ資料、協議記録等の作成	○	
各部署の業務体系リスト（入力フォーマット）及び業務処理時間の入力	○	○
業務量調査の実施マニュアルの作成	○	
説明会の実施	○	○
業務量のデータ入力		○
データ集計、グラフ化等	○	
ヒアリングの実施（必要部署のみ）	○	○
異常値の是正・適正化	○	
人員算出基準の策定、適正な職員数の把握	○	
業務種類別標準処理時間（理論値）の策定、現状比較	○	
結果分析、比較、課題抽出	○	
調査結果の考察、次年度以降の運用方法の提案	○	
報告書の作成	○	